

自治労栃木県本部機関紙

自治労とちぎ

発行所 自治労栃木県本部
住所 〒320-0052 宇都宮市中戸祭町 821
県労働者福祉センター 5F
TEL 028-622-6225 FAX 028-650-1025
(組合員の購読料は組合費の中に含む)

第
1741
号

県本部第71回定期大会

円滑な議事進行を ありがとうございました

▶議長を務めた、高橋孝司さん
(原職・写真右)と露久保論
さん(那珂川町職労・写真左)



県本部・石塚委員長あいさつ



自治労組合員は、社会に必要不可欠な仕事を行うエッセンシャルワーカー。各地域の最前線で住民の命と暮らしを守っていることに敬意を表したい。コロナ禍で今大会は代議員、来賓を絞り、時間を短縮し実施する。様々な集会等も中止となったが、皆さんから提案をいただき、新しい労働運動を模索したい。

今年の人事院勧告は変則的となったが、現業・公企・公共民間統一闘争、確定闘争は前へ前へと進めなければならぬ。議会日程を見据え、独自課題を含め、各単組一体となって取り組もう。

定年引き上げでは県本部もブロック学習会を開催したが、秋の臨時国会は見送りと報道もある。実施時期はともかく、基本的なスキームは変わらない。各単組で理解を深めてほしい。

私たちの処遇や仕事は、政治と無関係ではない。選挙の時期は不透明だが、立憲民主党の4人の県本部推薦者への支援をお願いする。組織強化では、新採は例年の取り組みが実施できない中、各単組で創意工夫し、例年の加入率を確保できた。また、同じ職場で働く会計年度任用・非正規職員、再任・雇用職員の加入も重要。加入増につなげた単組の成功事例を参考に、処遇改善の課題も取り上げ、いっしょに声をあげてほしい。

県本部は10月22日、那須塩原市・県磯文化会館において、第71回定期大会を開催しました。代議員と執行部あわせて188人が参加し質疑討論。20確定闘争を柱とする「当面の闘争方針」、新採・会計年度・再任用者の加入を進める「組織強化計画の補強」、次期衆院選挙で推薦する1区・渡辺のりよし、2区・福田あきお、3区・いが央、4区・藤岡たかおの勝利をめざす「政治闘争の推進」など、すべての議案を確認しました。(質疑応答は2面)

全単組で課題を積み上げて確定闘争を すすめて、早期交渉・決着をはかろう

経過報告に対する質疑

単組・県本部の素早い連携が異動撤回につながった

小林多加志さん(栃木市職労)



新型コロナウイルスに感染した給食調理員の他部署への異動問題で撤回を勝ち取れたのは、組合と組合員、単組と県本部、組織内・政策協力議員の素早い連携のおかげだと考える。こういう時こそ、組合と議員の存在が重要だ。感謝する。

当局はいま、唯一直営で残る給食調理場の委託に向け、強硬に動いている。組合は反対の立場で要求・交渉し、現場の組合員に寄

〈執行部答弁〉

市職労の取り組みに敬意を表する。他の単組も何かあれば県本部にすぐに連絡してほしい。今後も、県本部と単組が連携し、組合員のために活動していく。

議案に対する質疑

職場オルグで組合員や管理職から直接反応。手ごたえを感じた

瓦井雅俊さん(鹿沼市職労)

〈執行部答弁〉

瓦井雅俊さん(鹿沼市職労) 確定期に例年行う集会にかえ、今年は職場オルグを実施。組合員ばかりではなく、管理職からも質問が出るなど、手ごたえを感じている。今後も続けたい。5月の市長選の支援に感謝する。市長と対話できる関係を築くことで活動が前進する。また、私たちを守ってくれる組織内県議・市議2人の存在はとて大きい。政治闘争の大切さを感じている。

職場オルグで組合員の意見を集め、要求書に反映させている単組もある。大切な取り組みだ。また、私たちの代弁者を議会に送ること、仲間を増やすことは大切。県本部として取り組みを進めたい。



現場を知る現業職員は、災害時などで力を発揮。人員確保の取り組みを

水越 守さん(小山市職労)

大きな災害では現業職員が力を発揮。日頃から現場を一番知る現業職員の情報をいかにするよう、部局を超えた連携が必要だ。民間委託が進み、現業職員がゼロの自治体が出てくる一方、長い努力の積み重ねで県職のように採用を勝ち取った単組も、真の住民サービスを考え、一層の人員確保の取り組みを。



〈執行部答弁〉

頻発する大規模災害もあり、現業職員の人員削減が進みすぎたと当局も認識があるはずだ。しっかり要求・交渉を進めてほしい。

2020 機関紙コンクール

今年は22単組49紙から選考を行いました。県本部のスローガンである「機関紙は組合費の領収書」を踏まえ、紙面や発行回数、継続性、今後への期待、編集・発行体制等を重視して審査。

入選、努力賞のほかに、組合活動との両輪である自主福祉活動に努めた機関紙を「じちろう共済賞」と「ろうきん賞」としてえらびました。

2021年度は、単組基本組織で月1回以上(評協で年6回以上)、紙で組合員に手配りを目標に、機関紙の発行に取り組みしましょう。

入選

- 塩谷南那須しんぶん(県職労塩谷南那須支部)
- 鹿職労ニュース(鹿沼市職労)
- 週刊市職労(足利市職労)
- 新風(栃木市職労)
- 栃木県立がんセンター職員労働組合ニュース(栃がん労組)

努力賞

- 県庁支部速報(県職労県庁支部)
- 群青の音(那須塩原市職労青年部)
- 塩谷町職労だより(塩谷町職労)

じちろう共済賞

- 県職労下都賀支部速報(県職労下都賀支部)
- 週刊宇都宮市職労(宇都宮市職労)
- 噴煙(那須町職)

ろうきん賞

- 栃職労速報(県職労)
- すくらむ(小山市職労)
- なんたい(栃国保労組)

受賞された単組、評協のみなさん、おめでとうございます

必ず確認! 10月1日から 栃木県の最低賃金は

854円

1円UP

時間額

ご挨拶、議会報告をありがとうございました

〈ご来賓〉

- 那須塩原市・渡辺美知太郎市長
 - 立憲民主党栃木県第3区・いが 央 総支部長
 - 自治退県本部・山田博由会長
- ※新型コロナ対策のため、地元に絞るご案内

〈組織内議員〉

- 加藤正一・県議会議員
- 松井正一・県議会議員
- 吉田晴信・足利市議会議員
- 大貫 毅・鹿沼市議会議員
- 針谷育造・栃木市議会議員
- 内海成和・栃木市議会議員
- 郷間康久・宇都宮市議会議員

※石島政己・小山市議は公務のため欠席

